

## 表彰

軽金属学会第128回春期大会第1日目の5月16日(土)東北大学青葉山キャンパスにおいて、軽金属学会賞、軽金属功績賞の表彰式を挙行了。

## 第18回軽金属学会賞

軽金属学会賞は、一般社団法人軽金属学会の最高の賞であり、軽金属に関する学理または技術の進歩発展に顕著な貢献をした者に贈る。



吉田 英雄 君

株式会社UACJ 技術開発研究所 顧問  
工学博士

### 1. 略 歴

- 1950年 3月 18日生(65才)
- 1973年 3月 京都大学工学部冶金工学科 卒業
- 1975年 3月 京都大学大学院工学研究科 修士課程冶金工学専攻 修了
- 1975年 4月 住友軽金属工業株式会社入社
- 1988年 4月 同、技術研究所 金属材料研究部 主任研究員
- 1991年 6月 京都大学より工学博士授与
- 1996年 4月 同、研究開発センター 第一部長 兼 軽合金研究室長
- 2004年 6月 同、理事、研究開発センター 特別研究員 兼 第一部長
- 2005年 4月 同、執行役員待遇理事 研究開発センター 特別研究員
- 2007年 4月 同、常務執行役員待遇理事 研究開発センター 常務研究員
- 2013年 4月 同、研究開発センター 顧問(常勤)
- 2013年 10月 株式会社UACJ 技術開発研究所 顧問(常勤)

### 2. 主な受賞歴

- 1983年 11月 軽金属学会 第1回軽金属奨励賞受賞
- 1986年 4月 科学技術庁 第45回注目発明選定証受賞
- 1992年 11月 軽金属学会 軽金属論文賞受賞(1999年2編、2006年、2012年も受賞)
- 1995年 11月 軽金属学会 第30回小山田記念賞
- 1996年 1月 第9回中日産業技術賞通商産業省大臣賞受賞
- 2000年 5月 超塑性研究会 平成12年度宮川賞受賞
- 2005年 6月 軽金属学会 第3回軽金属功績賞受賞
- 2009年 9月 日本アルミニウム協会 アルミニウム鍛造技術賞受賞

### 3. 軽金属学会での主な活動歴

- 1987年 7月 編集委員会委員、編集幹事、担当理事(2015年5月まで)
- 2007年 5月 理事会理事(2015年5月まで)
- 2009年 5月 副会長(2011年5月まで)
- 2012年 5月 研究委員会委員長(2015年5月まで)
- 2010年 4月 東海支部長(2013年4月まで)

## 受賞理由

吉田 英雄 君は、長年、航空機、車両、モーターサイクル、自動車などの輸送機器用アルミニウム材料分野で基礎研究と材料開発を行ってきた。その成果は、特許登録（110件）され、小山田記念賞をはじめ、軽金属論文賞や軽金属功績賞として表彰されている。さらに軽金属学会の各種常設委員会にも参加し、学会活動の活性化のために尽力してきた。以下、その業績をまとめる。

航空機材に関しては7000系合金の結晶粒微細化の基礎研究を行い、7075合金テーバーストリング材の開発に貢献し、B767などに採用され、中日産業技術賞を受賞した。また、7475合金では結晶粒微細化した超塑性材を開発した。さらに動的再結晶を利用した高速超塑性材の開発も行った。動的再結晶の発現機構では平成4年度軽金属論文賞を受賞した。2000系合金では2024合金と同等の強度を有し中空押出可能な航空機用新合金2013を開発し、米国のAA，MMPDS等の規格に登録された。

車両では7N01合金厚板の隅肉溶接端面での応力腐食割れ防止法の開発、7003合金押出材の表面結晶粒粗大化抑制、6000系合金では粒界腐食防止、負の二段時効効果の防止、さらに押出時のピックアップ発生機構を解明し、平成11年度軽金属論文賞を受賞した。

モーターサイクル用フロントフォーク材として、押出性を向上させた7000系高強度高靱性合金を開発し、高品質の継ぎ目無し管の製造に成功した。この技術開発で第30回小山田記念賞を受賞した。

自動車材として高成形、高強度の5000系ボディシート材や5000系の超塑性材を開発し、自動車用材として採用された。さらに6000系合金ボディシート材の開発も行い、低温でのバークハード性に優れた材料やヘム加工性の優れた材料を開発し自動車材に採用された。

その他、基礎研究としてアルミニウム中の固溶した不純物元素、鉄とけい素に注目し、回復・再結晶挙動や延性、加工硬化・加工軟化に及ぼす役割を明らかにしている。

軽金属学会においては、副会長、理事、研究委員会委員長、東海支部長を歴任している。近年は研究委員会委員長として研究活動を活性化するため、産側のニーズと学側のシーズと結びつけた新規テーマの立ち上げ、推進に尽力している。

また最近では、わが国の誇るべき超々ジュラルミン開発の歴史を解説した記事を精力的に発表し、アルミニウム合金の啓蒙を図っている。

以上、吉田 英雄 君は企業におけるアルミニウム合金の基礎研究、さらに材料開発に尽力し、顕著な業績を上げた。また同時に学会活動を通して軽金属学会の発展に貢献してきたので、軽金属学会賞に値するものと判断し、ここに表彰する。